

～ 心と心をしっかりつなぎあえる熊っ子に！ ～

新型コロナウイルス感染症に関わる人権学習を行いました。

新型コロナウイルスによる感染症が世界的に広がって、もう9カ月が経とうとしています。この間、日本国内で7万人を超える人たちが感染、1500人以上の方が亡くなる（全世界では感染者：3千万人・死亡者：95万人）という事態となっています。一時期に比べれば新規感染者の数は減る傾向にあるとも言われていますが、**まだまだ安心できる状況ではありません。**

この新型コロナウイルスは、私たちの生活を大きく変えています。

「毎日、マスクをしなければならない。」「大勢で集まってはいけない。」「大好きな友達と話すのにも、距離をとらなければならない。」子ども達にとっても、とてもストレスのたまる状況が続いています。様々な催しや各種の行事も中止となり、**人と人のコミュニケーションもとても不自由になり、心と心のつながりも難しくなっている**ように感じます。

そのような中で、**今、広がっているのが、新型コロナウイルスに関わる方々への“誹謗”、“中傷”、“いじめ”、“人権侵害”**などの問題です。

感染してしまった方・回復された方やそのご家族についての“不確かな噂話”、ただでさえ感染という辛い状況にある人に対して、さらに攻撃を加えるような“誹謗中傷”。また、日々厳しい現場で神経を擦り減らしながらウイルスと闘って下さっている医療関係者やご家族の皆さんに対してまで、「そばに来るな」「家から出るな」などの“差別的な言動”がなされている状況は、耳にする度に悲しくなりません。

この状況を憂慮し、先日、萩生田 光一 文部科学大臣からも、子ども達に対して、「このような心ない言動が起こらないように協力してほしい」というメッセージが出されました。

(※文部科学省HP https://www.mext.go.jp/content/20200825-mxt_kouhou01-000009569_1.pdf)

熊ヶ畑小学校でも、このメッセージを活用して、あらためて人権学習を行いました。

どの子どもも、自分たちのこととして真剣に受け止め、自分たちにできることを考え、意見を交流し、深め合いながら、それぞれの思いを高めていく姿が見られました。

いつ・どこで・誰が感染してもおかしくない今。 私たちにできることとして、お互いを守るために『三密』を避け、マスクをし、こまめに手洗いをするのと同じように、**相手の辛さを思いやり、声をかけ、支え合い、励まし合っていく**ことが、とても大切だと思います。

ウイルスの感染拡大を防止するために「身体的距離（フィジカルディスタンス）」をとらざるを得ない現状ですが、私たちは今一度、人と人のつながりのあたたかさや大切さを思い返し、**心の距離は離すことなく、互いの心と心はしっかりとつなぎ合っていたい**と思います。

(文責：嘉麻市立熊ヶ畑小学校長 市川 修)

【学習後のみんなの感想】

○ いじめや さべつをしているひとには、おこっています。ぼくだったら、びょうきにかかったひとに「だいじょうぶ」といいたいです。



○ もし、がっこうの こが びょうきにかかって もどってきたら、あたたかくむかえたいです。わたしは、「しんぱいしたよ。」といいたいです。

○ コロナウイルスにかかった人に、やさしいこえをかけたいです。



○ もし、コロナウイルスにかかった人がいたら、「がんばったね。」
「しんぱいしたよ。」「よくなってよかったね。」「また、いっしょにあそぼう。」と言いたいと思います。

○ ぼくは、コロナをにくいそんざいだと思います。ぼくは「コロナがなければ、いろんなことができるのに。」と思います。コロナのことを考えるだけでも、心の中がすごく苦しくなります。そして、悲しくなります。コロナのせいで、たくさんの人がなくなりました。コロナは、早くなくなってほしいです。

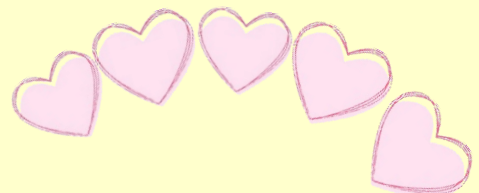


○ 今日の6時間目に、文部科学大臣から来た手紙で、コロナウイルスの勉強をしました。手紙では「コロナウイルスにかかっている人の家族の人に嫌なことをしている人がいるので、皆さんは、心配したり、治って帰ってきたら心温かく迎えてください。」「自分にできることは、取り組んでください。」と書かれていました。

なので、ぼくは、治ったりしたら、心温かくむかえたいです。

○ ぼくはメッセージを読んで、健康で元気な体になるように自分ができる対策をとっていきたいです。

もしも身近な人がコロナウイルスに感染したりしても、暴言や差別をするのではなく、応援したり励ましたりして、帰ってくるときはあたたかく迎えたいです。



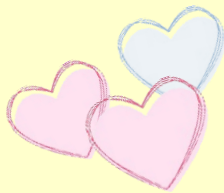
○ 新型コロナウイルスは誰もが感染する可能性がある。感染した人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持って、早く治るように励まし、治って戻ってきたときには、あたたかく迎えたい。



○ コロナの感染予防がゆるいところに行ったりせずに、みんなで予防したらいいと思います。

もし知っている人が感染して治ってもどってきたら、思いやりの気持ちを持って、あたたかく迎えて、やさしく接したいです。

○ 私は今日の勉強で、思いやりの気持ちが大事だし、差別をしないやさしい気持ち、相手の気持ちを考えることを学んだので、実行していきたいです。そして、自分がかからないように、かからせないように予防をがんばって取り組んでいきたいです。



○ (医療関係の方などへの) 感謝の気持ちを伝える活動がもっともっと広まってほしいし、自分も手洗い・うがい・マスク・消毒などを徹底していけるようになりたいです。

**これからも、
みんなで「気付き、考え、実行」し、
コロナに負けない熊小を目標として
取り組んでいきたいと思います。
応援をよろしくお願いします！**

